

金沢区制50周年記念

金沢区民大絵画展開催

金沢区文化協会主催



金沢区文化協会会報



金沢区文化協会

編集人 岩瀬昭二
広報部長

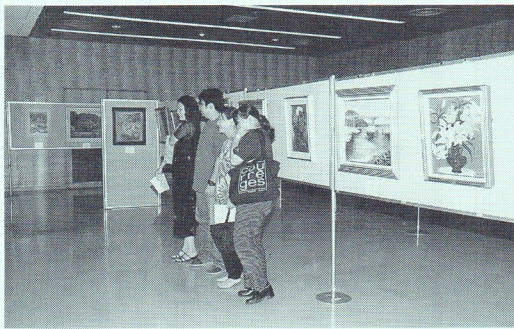
☎ 701-0795

発行人 助川信彦
会長代行

☎ 781-9337

平成十年八月十九日より二十三日までの五日間、金沢地区センターの大会議室とロビーを会場に、文化協会絵画部主催の金沢区民大絵画展が開かれました。今回の催しは、区制五十周年記念行事の一つとして、絵画部が年初から計画にあたり、文化協会加入団体以外の洋画・日本画・水墨画のグループに呼びかけたほか、区役所・地区センターの窓口にも申込書をおき一般区民の方々にも参加を呼びかけ、広報「かなざわ」にも作品募集を載せていただきました。

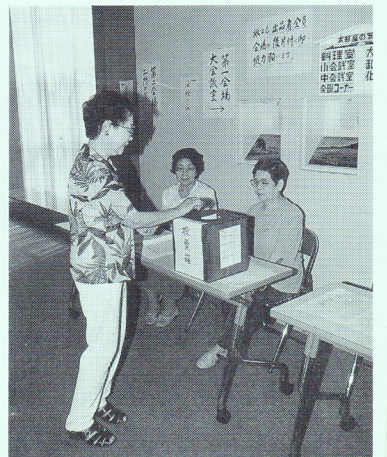
おかげで油彩七二点・水彩四〇点・その他八点、合計一二〇点もの参加となり、会期中の観者も千人を超え、観る盛況でした。今回は参観の方にお気に入り、作品五点を投票していた、多くコン



テストも実施、これが活気を呼びました。投票は絵画展の関心を高め、作品鑑賞が入念になり効果をあげました。実際に投票用紙とボールペンを手に、会場を二度、三度と回られる方もあり、投票総数五二八という結果に、役員一同苦勞の甲斐があったと大喜びでした。改めてご協力いただいた方々にお礼申し上げます。切後得票上位十人の次の方々を入賞者として表彰いたしました。

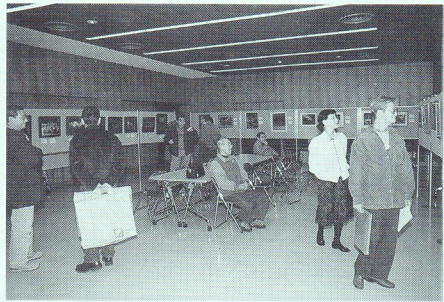
富塚和男・下田正次・中村簡次
遠藤節夫・羽佐間英二・石田栄一
上杉香代子・守屋昭四郎・山本博行
諸井フサ代 (敬称略)

最終日の八月二十三日正午よりロビーにて表彰式を行い、前記十名の方々に平等副会長より、賞状並びに賞品が渡されました。



区制五十周年記念事業

「この一点」写真展



金沢区制五十周年記念行事の最後として、文化協会写真部は、金沢地区センターの大会議室と、ロビーで「この一点」写真展を開きました。四カ月前に、同じ会場で絵画部が「大絵画展」を行っています。

写真部の夏山カメラサークル・金沢フォトクラブ・釜利谷カメラサークル・関ヶ谷カメラサークルの四団体と個人会員に呼びかけ、今までの写真ライフの中で最も気に入っている作品とか、特に印象の



強い思い出の作品など「この一点」を出品してもらうことにしました。出品は六十一一点。そしてその作品に対する思い入れや、状況・データなど作者のコメントを題名の横に書き

出しました。今迄の写真展では題名と作者名だけでしたので、これが参観の方々には好評でした。「写真を見ながら読むとおもしろいネ」と。なお、初日の十五日午後、神奈川新聞の記者が取材に見え、十二月十七日付同紙に「このワンショット」の見出しで、(写真入り)掲載されました。新聞の効果もあり、参観の方々は千名に達しました。

第10回

金沢区民文化祭作品展開かる



第十回 区民文化祭の「区民の作品展」が例年どおり金沢地区センター体育館で、平成十年十月十四日

より十八日迄(五日間)開かれました。出品は書道九十二点・写真六十三点・絵画六十四点・文芸三十七点のほか、手工芸の参加が十九団体で昨年より一挙に七団体も増加しました。編物・陶芸・人形・ガラス・木工芸

などバラエティに富み、力作ぞろいで見応えがありました。文化協会PRコーナーには、区制五十周年協賛の「郷土芸能まつり」「金沢区吹奏楽フェスティバル」「邦楽のしらべ」「大絵画展」の写真・プログラムなどを展示し、その活動をアピールしました。

ところで昨年から体育館の床のシートを白いビニール製にしました。照明が反射して会場が非常に明るくなりました。取材のタウンTV金沢のカメラマンが、外からも会場が明るいのが判りますと云っていました。十七日は会場の一角で氏家聡子さん(児童文化部)が児童アート教室を開き、「手づくり絵本」と「写真立て」

をつくりました。子供達が五十人も集まりとても楽しそうでした。「区民の作品展」も丁度十年目という区切りのよさで、毎年見に来て下さる方が増えました。特に最終日は日曜なので大勢の区民が足を運んでくださいました。

プレ文化祭の催し

金沢区民文化祭も十回目を迎え、そのPRを兼ねたプレイイベントが、区民ホールで次の通り開かれました。区役所の昼休みを利用しての催しで、十二時十分から四十分までの三十分間でした。

- 9月21日 お茶会(金沢茶道会)
- 22日 日本舞踊(金沢区日本舞踊連盟)
- 24日 邦楽演奏(金沢三曲会)
- 25日 コーラス(金沢区音楽のつどい)



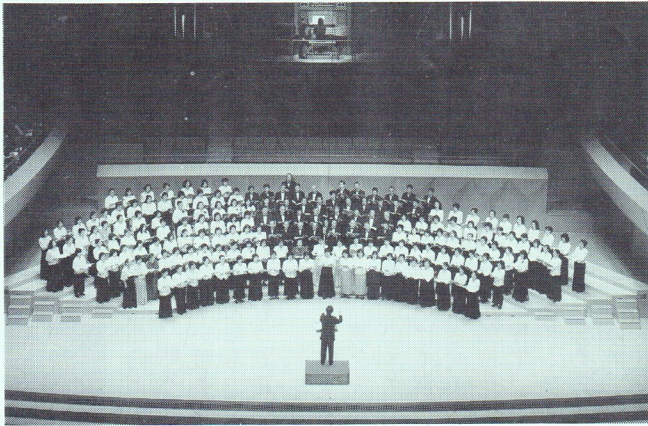
いずれも文化協会所属団体の御協力を得ました。なお、会場に区民文化祭のポスター応募全作品二十二点や、文化祭・音楽関係のポスターも貼り出しました。

第18回

金沢区音楽のつどい

1998年11月3日

於 「横浜みなとみらいホール」大ホール



平成10年度『第18回音楽のつどい』は、金沢区制50周年記念事業参加となり、金沢区文化協会の後援も得て、日本でも有数のパイプオルガンがあり2000人余収容できる本格的なコンサートホールでもある「横浜みなとみらいホール」の大ホールで開催いたしました。50周年記念に相応しいステージにするために、各団体出演の他に小田賢二先生のパイプオルガンのソロ演奏及び合唱指揮による混声合唱ミサ曲を歌うことになりました。混声合唱のメンバーは『音

楽のつどい』の会員のなかから募りましたが、女声パートが多くなり、混声合唱のバランスのために、一部の方にはお断りすることにもなりました。一方、男声パートは一向に増えず区外の方も含めて一般募集したところ、歌うのは初めての方や、ステージ経験豊富な方々が参加してくださり、金沢区混声合唱団'98が誕生しました。11月3日は、横浜ベイスターズの優勝パレードと重なり運営委員一同、一瞬！緊張感を覚えつつ「～荘厳の調べ～ 音楽のつどい」本番を迎えました。

いつもの公会堂でのステージとは大違い。移動ひとつにしても右往左往するほどの大きさでしたが、ひとたびステージに立つと、どの合唱団も気持ちよく歌えたことに感激し、またこの大きなステージで歌いたいとの声が多く聞かれました。人数の少ない合唱団でも力むことなく自然体で声を出せたので、あらためて音響の素晴らしさを実感しました。またお琴や吹奏楽団もいつもより多くのメンバーで参加し、大ホールでの演奏の醍醐味を味わいました。音楽は情操教育の橋渡し… 金沢区でもホールを是非！是非！是非！音楽のつどい運営委員会（平等静枝）

文化講演会のお知らせ

日時 3月13日(土) 13時より
会場 金沢地区センター 大会議室
テーマ 「中世六浦の庶民生活について」
中世の歴史に関わりの深い金沢区のあまり知られていない庶民生活の様子を区民の皆様に紹介する。
講師 県立金沢文庫 主任学芸員 福島 金 治氏
参加者 当日先着90名
参加費 無料
主催 金沢区文化協会
後援 金沢区役所

理事会だより

10・8・26 五十周年区民大絵画展報告。写真部行事予定説明。音楽のつどいMホール11月3日進行状況。プレ文化祭を区民ホールで開催内容説明。

各理事より本年度の予定発表。吟剣詩舞部と三曲会のジョイントで今秋公演予定。
2・10 3・13日の文化講演会は歴史部担当・役割分担決定。総会4・25日(日)に決定、準備分担。

文化協会のあり方検討小委員会

文化協会も設立以来四年目を迎え、その会則や運営に不都合な点も出て来たので、理事会の内部に「金沢区文化協会のあり方検討小委員会」をおき、次のとおり会合を重ねました。
第1回 4月22日 第4回 9月10日
第2回 6月1日 第5回 10月14日
第3回 6月29日
会則の変更案を作成しました。総会に提出する手筈となっております。

- 11・28 区民文化祭参加事業の報告。文化協会のあり方検討委員会の結果報告。
- 11・11 区民文化祭参加事業の報告。文化協会のあり方検討委員会の報告検討(つづき)。
- 12・9 事業報告(日本舞踊公演)。「この一点」写真展進捗状況。文化協会会則改正について。文化講演会開催について。
- 11・1・13 「この一点」写真展報告。

賛助会員 (有)高松写真商会

会員プロフィール⑦

玲瓏あらたに学もまた愉し

渋谷の大山町から横浜は三ツ沢上町一〇番地でサライし散歩でみつけた富岡小学校校庭に緑々とした風格がある。ポプラが三本、樹冠はなにかを掴みとろうとしていました。歴史をあるき文学を知るに最高であるこの金沢の地を定住と決め、以来、三十年を迎えます。



かちまくらときもる雨も袖かけて なみだふる江の昔をぞおもふ 小泉夜雨 目ばたきもできず魅せられた心が洗われます。東漸寺に近い中世鎌倉への道沿いに道歌が刻されています。にくむとも にくまれよ にくみにくまれ はてしなれば。往時お盆になると地蔵を囲んで村人は鉦をたいて六斎念仏踊りをしたと記されています。筆者は時代の風をすくいとっていいこうと欲ばって海外にも足しげく通う旅で勉強しました。

バーバーが音楽で現代人の悲しみを表現した弦楽のためのアダージョに人間の生存価値の実証を試みました。結果は歴史を踏みこえない限り解けないのです。皆さんが迷った時だったね。近前来た蔵は口を開きました。「もつともつと、そはに近よるのです」と教えています。

定年退職後、カルチャースクールで油絵を始め、五年半、現在は人物、風景、静物を別々の教室やサークルで学んで居ります。見る人に感動を与える具象画を創作することを目標に、昨年は油彩85点、水彩22点を描きました。今年四月には三回目

の個展を開きます。当会に個人会員として参加しているのは、自分なりに地域文化



文芸部 齋藤 一男

化の向上に貢献したいと考えているからです。欧米の家庭では、絵が飾ってない壁はない程美術に親しんでいます。地域の皆さんにもっと絵画に身近に接して心の余裕をもつて貰いたいと思います。

絵画部 角村先光

花を淡い水彩で描く。せいぜいB4サイズのスケッチブックに。それでも半日ほどかけて描いた絵は、後の半日を満足な気分にかけてくれる。写真を撮るときも、そんな気持ちでフリンダーを覗きシヤッターを押す。私の写真のテーマの中に「フリンダー」と「街並み」がある。ライフワークとまではいかないが、歴史のある街、小京都、小江戸といった街をよく訪ね、写真を撮る。また、文化協会の会員となり、個人会員の有志の例会にも参加し、金沢区内の写真も撮るようになった。



今年は、区内でフアンタスティックな写真一枚でも撮りたいと思っている。写真部 吉田浩康

金沢に住んで半世紀、第二の人生に入ってから十年余を数えて学書や水墨・篆刻などを楽しんでおります。そんな中で平成七年に当文化協会が発足しましたので、また一つ地域との繋がりができると喜んで書の個人会員として入れて頂きました。

総会のほか十月の区民展には楽しんで参加、出品させて頂いています。区民展はいいですね。私が個人会員の所為でしょうか、全体に他の書展などに見られる堅苦しさを感じられないのが嬉しいと思えます。

これからも楽しませて頂きたいと思ひ、企画の充実と会の発展を願っております。書道部 山下富藏(号 景舟)



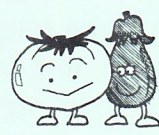
賛助会員

私は太平洋戦争中にカメラに興味を覚え玩具のカメラよりスタート致しました。金沢は追浜航空隊を控えていたのでスパイ扱いにならぬ様子を付けて撮影したものです。最初は記念撮影と絵葉書的な自己流の写真でしたが、金沢区の文化協会主催の第一回文化祭の写真展を拝見し、自分のカメラテクニクの未熟さが恥ずかしく、横須賀のT3フोटoclubと文化協会個人会員の集まりである文協フोटosalonに加入致し、春夏秋冬、各地の名所旧跡と幅広く写真活動に専念し、良い作品を地域の写真愛好家との交流を大切にしながら、これからの余生を全うして行きたいと思っています。



子ども達の喜ぶ顔が見たい、手作りのホッとする時間をつくりたい、絵を通して人に夢を与えられたら、そして人とかわかることとの楽しさを伝えられたら、とパネルシアターや手遊びを中心に活動しています。年二回金沢地区センターで、親子で楽しむコンサートをこれまで四回開きました。まだ、口コミでしか宣伝していませんが、0才〜小学校5・6年生までの親子70〜80人位来て下さり、楽しい時を創りました。日頃は、週一回自宅でパネルシアターを作ったり、次のコンサートの準備をしたりしています。メンバーは、30代のお母さん四人。新設の児童文化部ができたのをきっかけに入会しました。よろしくお願ひします。

写真部 長嶋 武



「絵夢一座」 児童文化部 北見明子

賛助会員 幸栄印刷(株)

会員アラカルト

- 金沢吹奏楽団は昨年8月30日(日)金沢公会堂にて夏休み子どもコンサート、楽しい吹奏楽を開催。子供たちに楽器に触れもらった。
- 写真部岩瀬理事は区民ホールで11月16日より20日まで「木村邸の四季」写真展を開催。19日神奈川新聞に紹介記事が掲載される。
- 金沢まつり花火大会写真コンクールに次の会員が入選。
 - 秦 鞏(大賞) 加藤千之輔・望月修身(入選) 原勝彦・武藤清一(佳作)
- 横浜ベイサイドマリナー・クリスマスフोटコンテストで写真部加藤千之輔さんが最優秀賞を受賞。ペアでアメリカ旅行一週間の豪華版。(12・23)
- 事務局長奥田理事は1・8〜14まで横浜画廊で油絵展(郷愁・ふるさと)の原風景を求めて)を開催。
- 志村静風チャリテイリサイタル 4月11日(日)10時30分横須賀市文化会館大ホールで舞と吟の集い。二千円。
- 吟剣詩舞部の方々も出演。
- 森川淳子(音楽)・佐野史瑞子・佐野純子(邦楽)さん達で4月18日(日)1時開演。金沢公会堂でミニコンサート。来場歓迎。
- 金沢区日本舞踊連盟は11月14日(日)金沢公会堂にて舞踊公演開催。出演希望の方は TEL(701) 92007迄。

編集後記

森下会長が療養に専念されるため会長を退かれ、助川副会長が会長代行に就任されました。文化協会設立に心血を注がれた森下会長の一日も早いご回復を祈ります。会員アラカルト(会員動静)の情報をお知らせ下さい。

編集委員 岩瀬昭二・森川淳子・佐野史瑞子 編委 後藤政也